

卒業時に期待される学修成果（アウトカム）

ディプロマポリシーに基づいて期待される学修成果（アウトカム）を5つのコンピテンスとして表現するとともに、各コンピテンスに関連した具体的なアウトカムを合計31のコンピテンシーとして示している。

()内は該当する学位プログラム ディプロマ・ポリシー

コンピテンスA：プロフェッショナリズム

- 倫理観及び責任感をもって、患者中心の歯科医療が提供できる。 (5-2)
- 患者に安心して安全な歯科医療を提供できる。 (5-1, 5-2)
- 歯科医療法規を遵守し、歯科医療および保健活動を実施できる。 (5-2)

コンピテンスB：コミュニケーション

- 患者および家族と適切な人間関係を構築し、円滑なコミュニケーションを行う事ができる。 (2-2)
- 安心して安全な医療を提供するために、クリニカルチーム内で必要なコミュニケーションが実施できる (2-2)
- 国際貢献や国際協力に必要な能力を身につける。 (3-1)

コンピテンスC：歯科医学および関連する領域の知識

- 人体の各器官の発生、成長、老化と死に関する生命現象を理解できる。 (1-1)
- 人体の各器官の正常構造と機能を理解できる。 (1-1)
- 微生物の感染機構と宿主の生体防御機構について理解できる。 (1-2)
- 疾患における人体の各器官の形態的、機能的変化と、それらの病因及び病態を理解できる。 (1-2)
- 安全に薬物療法を行えるようになるために、生体と薬物の相互作用について理解できる。 (1-3)
- 歯科材料の物理的、科学的、生物学的性質を理解できる。 (1-3)
- 歯科用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法について理解できる。 (4-1)
- 歯科用機器の構成、原理、特性及び使用方法を理解できる。 (4-1)
- 疫学と根拠に基づいた歯科医療が提供できる。 (4-1)
- 疾病の予防と健康管理を通じて公衆衛生の向上に寄与できる。 (1-3, 4-1)
- 適切な医療、保健サービスを提供するために必要な疫学および統計を理解できる。 (2-1, 4-1)
- 安心して安全な医療を提供するために必要な知識を身につける。 (4-1)
- 患者から病状を聴取し、必要な検査を選択したうえで、診断するための知識を身につける。 (2-2, 1-3)
- 頭頸部領域の構造と機能の正常を理解し、加齢変化および異常について説明できる。 (1-1)
- 診療録を正確に記録し、治療計画を立案するための知識を身につける。 (4-1)
- 安全・安心な歯科医療を提供するために、各種歯科治療技能に関する知識を身に付ける (4-1)
- 多職種連携の必要性と地域医療の中での歯科医師の役割を理解できる。 (4-2)

コンピテンスD：歯科医療に関する技術およびそれを実践できる態度

- 医療安全対策に配慮した安心して安全な医療を実践できる。 (4-1, 5-1)
- 患者から病状を聴取し、必要な検査を行った後に、適切に診断できる。 (4-1, 5-1)
- 症候および病態を正しく把握し、発症原因の推論および鑑別診断が実施できる。 (4-1, 5-1)
- 医療情報を正しく取り扱うとともに、それらを適切に整理し、治療計画を立案できる。 (4-1, 5-1)
- 安全・安心な歯科医療を提供できる。 (4-1, 5-1)
- クリニカルチームの一員として地域医療に参画できる。 (4-1, 4-2)

コンピテンスE：歯科医学に関する科学的な研究

- 分子、細胞、組織及び個体レベルにおいて、生命現象の原理を理解できる。 (2-1, 4-3)
- 口腔科学に興味を持てるようになるために、基礎研究とともに科学的・論理的な思考ができる。 (2-1, 4-3)

参考) 学位プログラム「歯学」ディプロマ・ポリシー

高度な専門性と深い学識

- 1-1 □・顎・顔面領域を中心とした人体の構造、機能、発生、成長及び加齢変化を階層的・統合的に理解し、説明できる。
- 1-2 □・顎・顔面領域を中心とした人体に発生する感染症、疾患などを階層的・統合的に理解し、説明できる。
- 1-3 □・顎・顔面領域に発生する疾患とこれらに伴う障害に対する検査法、診断法、予防法、治療法、治療材料について説明できる。

教養

- 2-1 広く人文科学、社会科学及び自然科学の分野に対して興味を示し、歯科医学の発展に貢献できる。
- 2-2 患者や家族、多職種の医療者と適切にコミュニケーションできる。

国際性

- 3-1 国内外における最新の歯科医学及び歯科医療行政等に関する情報を的確に収集できる。

デザイン力

- 4-1 □・顎・顔面領域に発生する疾患について、適切に診断するとともに、患者の持つ社会的・個人的背景を考慮した治療計画の立案、治療の実施、患者指導ができる。
- 4-2 歯科医師としてチーム医療を支え、多職種のスタッフとのチーム医療の重要性を理解し実践することによって患者のQOL向上に貢献できる。
- 4-3 歯科医学・医療に関する未知・未解決の問題を発見し、その解決に取組むことができる。

プロフェッショナリズム

- 5-1 常に新たな専門的知識及び技術を習得し、生涯にわたりエビデンスに基づいた歯科医療を実践できる。
- 5-2 法規・規範を遵守するとともに、医療人としての高い倫理性を有し、自己犠牲と奉仕の精神をもって行動できる。